

リニア駅と甲府駅を結ぶ新たな交通システムの検討状況について

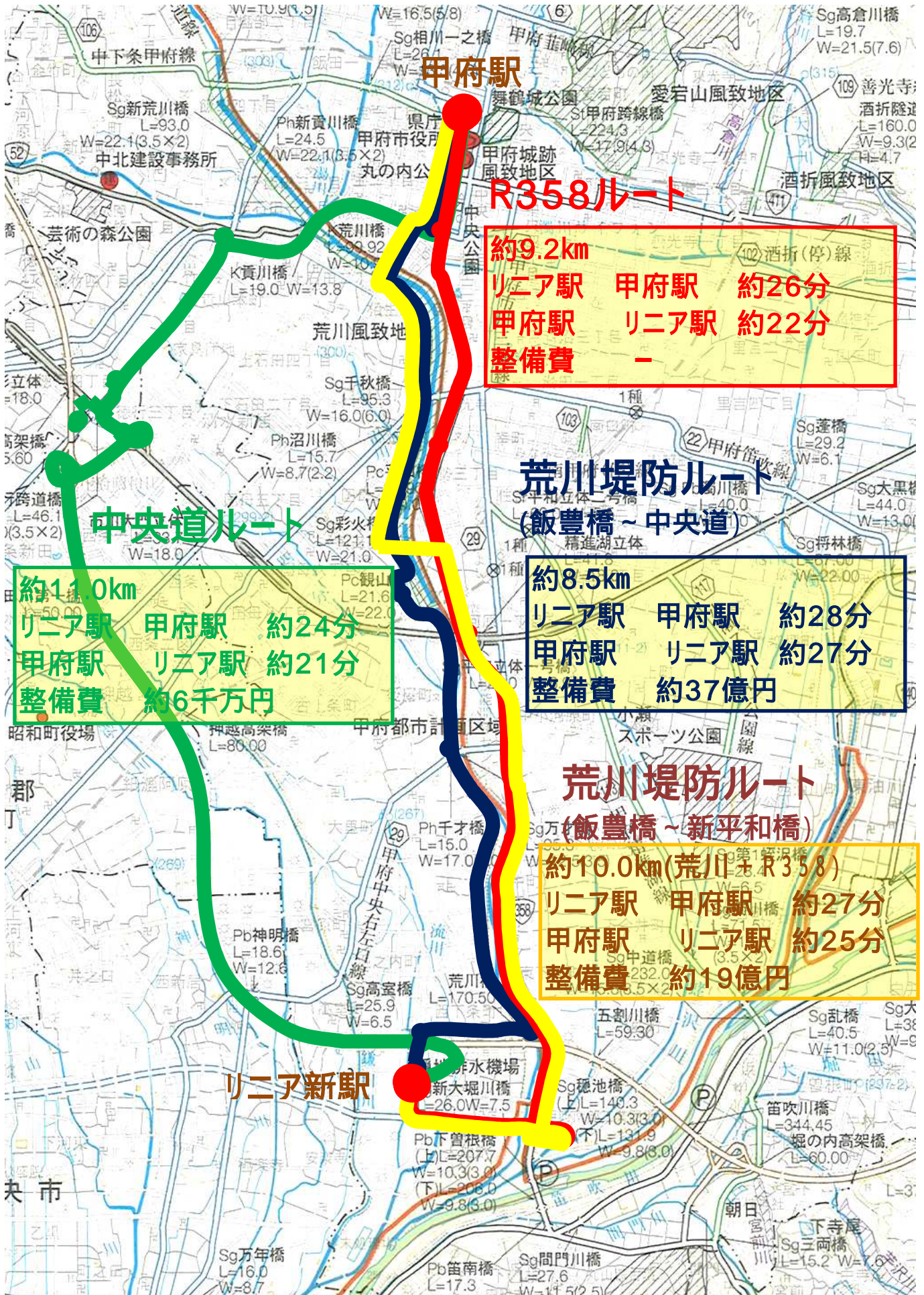
ルート検討状況

| 検討ルート 検討項目 | 荒川堤防ルート (飯豊橋～中央道) | 荒川堤防ルート (飯豊橋～新平和橋) | 国道358号ルート | 中央道ルート |
|---------------------------|---|--|--|--|
| 区間距離 | 約8.5km 内訳) 専用道路 5.1km (新設) 4車線道路 0.9km (既設) 2車線道路 2.5km (既設) | 約10.0km 内訳) 専用道路 1.8km (新設) 4車線道路 7.3km (既設) 2車線道路 0.9km (既設) | 約9.2km 内訳) 4車線道路 9.2km (既設) | 約11.0km 内訳) 高速道路 5.2km (既設) 4車線道路 5.8km (既設) |
| 所要時間 (対象時間帯 7:00～9:30) | 南進: 26分40秒 北進: 27分45秒 | 南進: 25分14秒 北進: 26分37秒 | 南進: 21分52秒 北進: 26分14秒 | 南進: 21分25秒 北進: 24分13秒 |
| 定時性 (対象時間帯 7:00～9:30) | 南進: 24分57秒～28分04秒 (3分07秒) 北進: 25分20秒～29分43秒 (4分23秒) | 南進: 22分48秒～27分34秒 (4分46秒) 北進: 23分41秒～28分59秒 (5分18秒) | 南進: 18分03秒～23分33秒 (5分30秒) 北進: 22分13秒～29分24秒 (7分11秒) | 南進: 20分59秒～22分02秒 (1分03秒) 北進: 21分48秒～27分31秒 (5分43秒) |
| 整備費 | 37億1千万円 (JR身延線交差部 約9億円) (千秋橋西詰立体化 約14億円) | 19億3千万円 (千秋橋西詰立体化 約14億円) | — | 6千万円 |
| 関連事業 (リニア開業時供用済) | — | 新山梨環状道(東部区間)整備 | 新山梨環状道(東部区間)整備 | (仮称)甲府中央SIC |
| 事業の実現性 | 用地取得及び河川利用者(甲府市、自治会、学校等)の同意が必要 | 用地取得及び河川利用者(甲府市、自治会、学校等)の同意が必要 | — | — |
| 一般交通への影響 | 飯豊橋南交差点、万才橋西交差点での渋滞への影響 | 飯豊橋南交差点での渋滞への影響 | — | — |
| 留意点 | 河川敷地の利用制限(堤防上の散策、通学路等) | 河川敷地の利用制限(堤防上の散策等) | 将来の沿道開発による交通への影響 | 乗車定員に制限あり シートベルト着用義務 |
| 備考 (社会資本整備計画) | | 国道358号主要交差点整備 | 国道358号主要交差点整備 | |

| | | | | |
|--------------|---|---|---|---|
| 地域内路線としての利便性 | ルート沿線自治会世帯数 2,605世帯 重複する既存路線バス運行系統 — 既存路線バス運行系統との結節点 2箇所(2系統) | ルート沿線自治会世帯数 3,006世帯 重複する既存路線バス運行系統 — 既存路線バス運行系統との結節点 2箇所(3系統) | ルート沿線自治会世帯数 3,117世帯 重複する既存路線バス運行系統 3系統 既存路線バス運行系統との結節点 2箇所(3系統) | ルート沿線自治会世帯数 2,898世帯 重複する既存路線バス運行系統 8系統 既存路線バス運行系統との結節点 1箇所(8系統) |
|--------------|---|---|---|---|

※ 「所要時間」、「定時性」は「関連事業」の供用を見込む。

甲府駅～リニア駅 検討ルート図



甲府駅～リニア駅 バス運行系統図

